

目次

- 【1】 長期保存を目的とした食品加工（レトルト加工）
- 【2】 開放機器の紹介（No.34）「小型レトルト食品製造装置」
- 【3】 令和7年度第2回 ICETT カーボンニュートラルセミナー
- 【4】 水素利活用促進セミナー

\*\*\*\*\*

【1】 長期保存を目的とした食品加工(レトルト加工)

\*\*\*\*\*

災害に備えた食料と言えば、カンパンなどの水分の少ないものや、ペットボトル飲料や缶詰などが主流ですが、カレーに代表されるレトルト食品を備えている方も多いのではないのでしょうか。レトルト食品はアルミやフィルムのパウチで密封した後、高温・高圧の条件下で殺菌することにより、中身の食料が腐敗するのを防ぐ加工方法です。

また、単に殺菌するだけではなく、レトルト加工の条件を工夫することにより、調理前の食材を密封して加工することで調理と殺菌を同時に行うことも可能となり、製造工程の省力化にも貢献できます。食材によっては難しいものもありますが、三重県工業研究所にはレトルト加工装置もありますので、試作して頂くことも可能です。お気軽にお問合せください。

▼レトルト加工については、工業研究所だより第41号で詳細をご紹介します。

<https://www.pref.mie.lg.jp/common/content/001240341.pdf>

\*\*\*\*\*

【2】 開放機器の紹介(No.35)「小型レトルト食品製造装置」

\*\*\*\*\*

食と医薬品研究課で保有している開放機器の中から「小型レトルト食品製造装置」をご紹介します！

機器名：小型レトルト食品製造装置

型式：平山製作所株式会社製 HLM-36EF

(1) 本装置の特徴

本装置は、釜内の温度と圧力を徐々に高めることにより、アルミラミネート袋やプラスチック多層フィルム袋の破損を防止しながら高温高圧の殺菌（調理）が可能。

(2) 仕様

- ・内寸法：φ360×D620 mm（有効容量 63L）
- ・殺菌温度範囲：コース 1（100～125℃ 可変式）、コース 2（70～125℃ 可変式）
- ・加圧圧力：OFF、30～100kPa 可変式（殺菌設定温度の飽和蒸気圧に加算）

### （3）使用料

基本料金 370 円／回＋1,410 円／時間（1 時間未満は切り上げ）

－お問合せ先－

急速凍結機のご利用、使用条件等の詳細をご希望の方は、電話（059-234-8462）又は、このメール末尾に記載のアドレスまでお問い合わせください。

▼機器の外観および詳細については、こちらからご覧ください。

<https://www.db.pref.mie.lg.jp/db/view/details.asp?INFO=TWI3Mk1TeHJNVFUyTURNdw%3D%3D&RECORDNO=528&>

▼当所の機器設備の利用方法や他の機器は、こちらをご覧ください。

<https://www.pref.mie.lg.jp/kougi/hp/38610032876.htm>

\*\*\*\*\*

### 【3】令和 7 年度第 2 回 ICETT カーボンニュートラルセミナー

「省エネの次の一手 -CO<sub>2</sub>削減を価値に変えるカーボンクレジット-

<主催:公益財団法人国際環境技術移転センター(ICETT)>

\*\*\*\*\*

今後、市場の更なる活発化が見込まれるカーボンクレジットに焦点を当て、省エネ等による CO<sub>2</sub> 削減の取り組みをクレジットとして創出するための制度動向や事例等を企業や自治体等の皆様へ共有いたします。

製造業を中心とした中部地域の事業者によるクレジットの創出と、CN の達成に向けた取組を促進することを目的としたセミナーです。

カーボンクレジットの基本から丁寧に解説いたしますので、知識ゼロや検討段階の方にも安心してご参加いただけます！

こんな方におすすめです！

- ・省エネの実施や再エネの導入に取り組んでいる中小企業
- ・自社の CO<sub>2</sub> 削減をカーボンクレジットとして活用（創出）したい方
- ・地域の脱炭素を進めたい自治体

○日 程：2026 年 2 月 27 日（金）13:30～16:30

○開催方法：会場、オンライン

○場 所：四日市商工会議所 1F 会議所ホールII

(三重県四日市市諏訪町 2-5)

○定 員：会場 50 名 オンライン 100 名 (先着順)

○参加費：無料

○内 容：

講演 1. 「J-クレジット制度の最新動向について」

経済産業省中部経済産業局 資源エネルギー環境部

カーボンニュートラル推進室 企画係 沖山 瑞樹 氏

講演 2. 「環境価値を経済価値へ-カーボンクレジットで新たな価値創造を-」

バイウィル株式会社 代表取締役社長 下村 雄一郎 氏

講演 3. 「金融機関の取組と地元企業の J-クレジット創出事例」(仮)

株式会社三十三銀行 営業本部 営業企画部 本業支援課

課長代理 西塔 美香 氏

講演 4. 「地域で取組む脱炭素-松阪市の J-クレジット創出事例-」(仮)

松阪市環境生活部 環境課 政策係 末富 孝輔 氏

三重県地球温暖化対策課からのお知らせ

三重県環境生活部 環境共生局 地球温暖化対策課 主任 伊藤 瑞紀 氏

(セミナー終了後・会場参加者限定)

登壇者・支援機関と直接意見交換ができる名刺交換会

●詳しくはこちら：<https://www.icett.or.jp/2026/01/post-2754/>

○参加申し込みフォーム (※参加形式によって申込フォームが異なります)

会場参加 <https://forms.office.com/r/uuBBHLg8PV>

オンライン参加

[https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN\\_wGlawNnMRGmZiZuF6oU7Pw#/registration](https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_wGlawNnMRGmZiZuF6oU7Pw#/registration)

○問合せ先：

公益財団法人国際環境技術移転センター (ICETT / アイセット)

TEL : 059-329-3500 E-Mail : cngroup@icett.or.jp

担当：多田、朝山

\*\*\*\*\*

【4】「水素利活用促進セミナー～脱炭素を取り巻く政策の動向及び  
水素利活用の最新技術や実証事例をご紹介～」

<主催:中部圏水素・アンモニア社会実装推進会議、公益財団法人  
国際環境技術移転センター(ICETT)>

\*\*\*\*\*

2050年のカーボンニュートラルの実現に向けて、脱炭素を取り巻く政策の  
動向や水素利活用に関する最新技術や実証事例等を紹介する「水素利活用  
セミナー」を下記の通り開催します。

カーボンプライシングを含む国の政策動向や企業による水素利活用の最新  
事例に関心のある方はぜひ、参加をご検討ください！

○日 程：2026年3月3日（火）13：30～16：30

○開催方法：会場、オンライン

○場 所：四日市市地場産業振興センター（じばさん）5階大研修室  
（四日市市安島1丁目3番18号）

○定 員：会場50名程度（事前申込・先着順）、オンライン最大50名  
※オンライン参加の方は、後日事務局よりURLをメールにて送付。

○参加費：無料

○内 容：

第1部 「カーボンニュートラル・GXに係る国の政策動向」  
経済産業省 中部経済産業局 資源エネルギー環境部  
カーボンニュートラル推進室 渡邊 真俊 氏

第2部 「株式会社デンソーとのSOEC水素製造実証」  
株式会社JERA O&M・エンジニアリング戦略統括部  
技術経営戦略部 技術開発ユニット ユニット長 長尾 隆司 氏

第3部 「物流を取り巻く環境と商用車の将来技術について」  
日野自動車株式会社 事業統括部 商品グループ 主幹 石森 崇 氏

●詳しくはこちら <https://www.icett.or.jp/2026/01/post-2761/>

○参加申し込みフォーム <https://logofom.jp/form/8vMX/1386950>

○問合せ先：

三重県雇用経済部 新産業振興課 ものづくり推進班

TEL：059-224-2749 E-mail：shinsang@pref.mie.lg.jp

---

---

■□■ このメールマガジンについて ■□■

◎皆さんからのご意見、ご質問、ご感想などをお待ちしております！

[ 編集・発行 ]

三重県工業研究所 企画調整課

〒514-0819 三重県津市高茶屋5丁目5番45号

電話番号：059-234-4036 ファックス番号：059-234-3982

ホームページアドレス：<https://www.pref.mie.lg.jp/kougi/hp/>

メールアドレス：kougi に続いて、@pref.mie.lg.jp を付記してください。

～ 「@」は全角になっていますので、半角に変更してください。～

～ メールアドレス収集ロボット対策としてご了承ください。～

---

---